

国立劇場30年の公演記録

舞踊・邦楽 篇

国立劇場30年の公演記録
舞踊・邦楽 篇

発行日 平成 9 年 9 月 30 日

発 行 日本芸術文化振興会

編 集 国立劇場調査養成部情報システム室

東京都千代田区隼町 4 番 1 号

電 話 03-3265-7411 (大代表)

F A X 03-3265-7402

印 刷 凸版印刷株式会社

国立劇場30年の公演記録

舞踊・邦楽 篇



日本芸術文化振興会

『公演記録』編集の概要

[舞踊・邦楽篇]

1. データの典拠

この『公演記録』は日本芸術文化振興会が作成するデータベース、『伝統芸能情報システム』の国立劇場及び国立文楽劇場における自主公演記録のうち、舞踊・邦楽関係のものに各公演の開演時間・入場料金などの興行データを加え、編集したものである。

2. 収録期間

両劇場の開場より、平成8年3月までの公演データを収録した。

3. データの配列

国立劇場、国立文楽劇場の順に掲載し、各劇場内は公演シリーズ別・公演回数順に配列した。

4. 使用文字等について

データベース『伝統芸能情報システム』は「公演プログラム」を基本情報とし、『国立劇場二十年の歩み』・『国立文楽劇場十年史』を参考として、使用されている旧字体・特殊文字等は一部を除きそのままデータに取り込んでいる。この『公演記録』もデータベース通りの文字を活かして編集した。

5. 索引について

この[舞踊・邦楽篇]では舞踊・邦楽関係公演の曲名索引のみを作成した。

6. 各項目について

(1) 出演者欄

- ① 『主な出演者欄』の出演者記載順序は、順不同である。
- ② 役名・受け持ちパートなどは出演者名の前に [] で表示した。
- ③ 休演・代演については代演者のみを表示し、備考欄に休演に関する情報を記載した。また、交替出演については、演者を／で区切って表示した。
- ④ 作者・作曲者などの文芸スタッフの中で必要な者については、芸名・ペンネームの前に(算用数字)で世代を表示した。

(2) 公演記録時間・公演記録物欄

- ① 記録時間 公演記録録音テープを基本資料として、分単位で計測・表示した。ただし、交替出演の際にそれぞれ録音がある場合には平均値を記載した。
- ② 記録物 公演記録物のうち、映像・録音については次のように表示した。
映像……………16mm映画フィルム、またはビデオテープを保有するものは
白黒＝M カラー＝C の色彩略号を表示し、記録の無いものは空欄とした。
録音……………録音テープを保有するものは「有」を表示し、記録の無いものは空欄とした。

7. 参考文献・資料について

データベース作成に際し、「公演プログラム」「国立劇場二十年の歩み」「国立文楽劇場十年史」に記載されていない情報については、主に以下の文献・資料を参照した。

(1) 文献

日本音楽大事典（平凡社刊）
邦楽曲名事典（平凡社刊）
邦楽舞踊辞典（富山房刊）
邦楽百科辞典（音楽之友社刊）
現代・邦楽名鑑 [長唄編] [清元編]（株式会社邦楽と舞踊刊）
小唄全書（八木書店刊）
小唄全集（春陽堂刊）
常磐津全集（日本音曲全集刊行会刊）
歌謡音曲集（日本名著全集刊行会刊）

(2) 資料

ビデオテープ、録音テープ、写真

目次

〔舞踊・邦楽篇〕

国立劇場	7
舞踊公演	8
舞踊鑑賞教室	112
日本舞踊の流れ	116
邦楽公演	124
邦楽鑑賞教室	238
日本音楽の流れ	242
舞踊・邦楽公演	262
国立文楽劇場	273
舞踊公演	274
邦楽公演	288
舞踊・邦楽公演	296

索引

舞踊・邦楽曲名索引

国立劇場

国立劇場 舞踊公演

公 演		公 演 名	演 目 名	時間 (分)	映 像	録 音
回数	年 月					
1	昭和41年11月3日～6日 (1966) 国立劇場開場記念	東西顔見世舞踊	3 日 13:00	〔長唄・清元〕 舌出し三番叟 －再春松種蒔－		
				〔清元〕 梅川 －道行故郷の春雨－		
				〔常磐津〕 花橘寿万才 岡鬼太郎＝補綴 (3)常磐津文字兵衛＝補曲		
				〔繁太夫〕 千鳥		
				〔長唄〕 吉野天人		
			3 日 17:30	〔常磐津〕 子宝三番叟		
				〔一中〕 家桜傾城姿		
				〔清元〕 山帰り －山帰強桔梗－		
				〔地唄〕 雪		
				〔長唄〕 紅葉狩		
			4 日 13:00	〔清元〕 四季三葉草		
				〔長唄〕 二人桝久 －其面影二人桝久－		
				〔常磐津〕 角兵衛 －後の月酒宴島台－		
				〔地唄〕 珠取		
				〔清元〕 喜撰 －六歌仙容彩－		
			4 日 17:30	〔長唄〕 操り三番叟 －柳絲引御攝－		
				〔清元〕 神田祭 －鰯能色相図－		
				〔常磐津〕 山姥 －薪荷雪間市川－		
				〔地唄〕 都十二月	15	有
				〔常磐津〕 女戻駕 －姿花鳥居の色彩－		
			5 日 13:00	〔常磐津〕 子宝三番叟		
				〔地唄〕 茶音頭		

主 な 出 演 者	開演時間	入場料金 入場者数	備 考
〔千歳〕藤間友章 〔三番叟〕藤間秀斉 〔唄〕芳村五郎治 〔三味線〕杵屋栄次郎 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元梅吉 〔小鼓〕藤舎呂船	1 時・5 時半	1300円 1000円	
〔梅川〕若村喜久 〔忠兵衛〕葵七重 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元梅吉			
吾妻徳徳・花柳寿美 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津文字兵衛			
吉村雄輝 〔唄・三絃〕富山清琴			
〔天人〕藤間観素娥 〔貴人〕藤間喜與恵 〔唄〕杵屋六左衛門 〔三味線〕杵屋勘五郎 〔小鼓〕藤舎呂船			
〔大名〕花柳昌太郎 〔太郎冠者〕花柳寿南海 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津菊三郎			
川口秀子 〔浄瑠璃〕都一つや 〔三味線〕都一中			
坂東三津五郎 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元梅吉			
武原はん 〔唄・三絃〕富山清琴 〔琴〕富山美恵子			
〔更科姫実〕は鬼女 西川司津 〔平維茂〕西川鯉次郎 〔唄〕杵屋六左衛門 〔三味線〕杵屋六一郎 〔小鼓〕藤舎呂船			
〔翁〕尾上菊之丞 〔千歳〕尾上菊音 〔三番叟〕尾上菊雅 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元梅吉			
〔梶屋久兵衛〕若柳東宏 〔傾城松山〕若柳光妙 〔唄〕和歌山富士郎 〔三味線〕柏伊三郎 〔小鼓〕藤舎呂船			
〔角兵衛〕坂東三津五郎 〔女太夫〕坂東寿子 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津菊三郎			
神崎ひで 〔唄・三絃〕富山清琴 〔琴〕富山美恵子			
〔喜撰〕花柳芳次郎 〔茶汲〕花柳寛 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元邦寿			
〔翁〕若柳寿慶 〔千歳〕若柳美東理樹 〔三番叟〕若柳佑三郎 〔後見〕若柳占三次 〔唄〕芳村五郎治 〔三味線〕杵屋栄二 〔小鼓〕藤舎呂船			
〔頭〕坂本晴江 〔芸者〕岩井紫若 〔浄瑠璃〕清元梅寿太夫 〔三味線〕清元邦寿			
〔山姥〕西川栄寿 〔山樵〕猿若清方 〔怪童丸〕神辺晃 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津菊三郎			
榎茂都陸平 〔唄・三絃〕富山清琴			
〔おせん〕瀬川仙女 〔お若〕松見彌翠穂 〔禿たより〕西川喜久輔 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津菊三郎			
〔大名〕藤間勘太郎 〔太郎冠者〕藤間松寿郎 〔浄瑠璃〕常磐津千東勢太夫 〔三味線〕常磐津菊三郎			
山村若 〔唄〕柴山富子 〔三味線〕柴山登美			

国立劇場 舞踊公演

公 演		公 演 名	演 目 名	時間 (分)	映像	録音
回数	年 月					
	国立劇場小劇場		〔常磐津〕 お三輪 －願絲絲芋環－			
			〔一中〕 松襲			
			〔長唄〕 鶯娘 －柳雛諸鳥囀－			
			5 日 17:30			
			〔長唄・清元〕 舌出し三番叟 －再春菰種蒔－			
			〔地唄〕 鉄輪	14		有
			〔長唄〕 草摺引 －正札付根元草摺－			
			〔地唄〕 きぎす			
			〔清元〕 女車引 －五諸車引哉袖襖－			
			6 日 13:00			
			〔長唄〕 操り三番叟 －柳絲引御攝－			
			〔清元〕 女車引 －五諸車引哉袖襖－			
			〔長唄〕 藤娘 －歌へす歌へす余波大津絵－			
			〔清元〕 申西 －再茲歌舞伎花轢－			
			〔義太夫〕 吉野山 －道行初音旅－			
			6 日 17:30			
			〔長唄〕 廓三番叟			
			〔地唄〕 三国一	12		有
			〔上方唄〕 堀川	3		有
			〔常磐津〕 俳諧師 －三幅対和歌姿画－	30	M	
			〔長唄〕 木賊刈 －姿花穂七種－			
			〔清元〕 かさね －色彩間莉豆－			
2	昭和42年 2 月25日～26日 (1967)	宝暦天明の舞踊 松本亀松＝監修	25 日 12:00			
			〔長唄〕 晒三番叟 －今様四季三番三－ 藤間藤子＝復元			
			〔常磐津〕 影勝団子 －主誰恋山吹－ －中村(弥八)流伝承－			
			〔長唄〕 白酒賣 －春昔由縁英－ －中村(弥八)流伝承－	16		有

泉)都一中

未線)富本

国立劇場 舞踊公演

公 演		公 演 名	演 目 名	時間 (分)	映 像	録 音
回数	年 月					
			〔常磐津〕 関扉 －積恋雪関扉－			
			〔長唄〕 三勝道行 －三傘暁小袖－ 花柳宗岳＝復元			
			〔常磐津〕 戻駕 －戻駕色相肩－			
		25日 17:00	〔長唄〕 娘七種 －春調娘七種－ －市山(七十郎)流伝承－			
			〔長唄〕 羽根の禿 －春昔由縁英－			
			〔一中〕 賤機帯 －尾上雲賤機帯－ (8)坂東三津五郎＝復元	22		有
			〔長唄〕 吉原雀 －教草吉原雀－			
			〔一中〕 夕霞浅間嶽 藤間友章＝復元	23		有
			〔長唄〕 執着獅子 －英執着獅子－ 若柳東宏＝復元			
		26日 12:00	〔長唄〕 晒三番叟 －今様四季三番三－ 藤間藤子＝復元			
			〔長唄〕 高砂丹前 －女夫松高砂丹前－ －西川(鯉三郎)流伝承－			
			〔長唄〕 娘七種 －春調娘七種－ －市山(七十郎)流伝承－			
			〔常磐津〕 関扉 －積恋雪関扉－			
			〔長唄〕 安宅松 －隈取安宅松－			
			〔長唄〕 吉原雀 －教草吉原雀－			
		26日 17:00	〔長唄〕 水仙丹前 －門出京人形－ 中村小虎＝復元	22		有
			〔長唄〕 三勝道行 －三傘暁小袖－ 花柳宗岳＝復元			
			〔常磐津〕 影勝団子 －主誰恋山吹－ －中村(弥八)流伝承－			
			〔長唄〕 娘道成寺 －京鹿子娘道成寺－			
			〔富本〕 鞍馬獅子 猿若清方＝復元			
			〔常磐津〕 戻駕			

主 な 出 演 者		開演時間	入場料金 入場者数	備 考
〔良岑宗貞〕坂東養助 〔小町姫・墨染〕西川鯉三郎 〔関兵衛実ハ大伴黒主〕坂東三津五郎	<長唄> 〔唄〕杵屋六左衛門 〔三味線〕杵屋六一郎 〔唄〕芳村伊十郎 〔三味線〕杵屋五三助 〔唄〕和歌山富十郎 〔三味線〕杵屋栄之助・柏伊三郎 〔唄〕今藤文子 〔三味線〕今藤綾子 〔囃子〕田中佐十次郎			
〔笠屋半七〕花柳絃三 〔茜屋三勝〕若柳光妙				
〔浪花の次郎作実ハ石川五右衛門〕花柳寿美之輔 〔東の与四郎実ハ真柴久吉〕花柳輔夫 〔禿たより〕花柳寿美				
〔曾我十郎〕市山七十世 〔曾我五郎〕西川扇藏 〔静御前〕西川扇祥				
〔禿〕藤間高寿				
〔八雲〕坂東三津代 〔三太郎〕若柳吉三次				
〔男鳥壳実ハ八幡太郎〕花柳寿楽 〔女鳥壳〕松見彌翠穂				
〔京の次郎〕藤間友章 〔傾城奥州〕花柳寿輔				
〔遊女〕若柳富士				
〔如月姫〕水木歌紅				
〔奴筆助〕西川鯉次郎 〔侍女此花〕西川鯉寿				
〔曾我十郎〕市山七十世 〔曾我五郎〕西川扇藏 〔静御前〕西川扇祥				
〔良岑宗貞〕坂東養助 〔小町姫・墨染〕西川鯉三郎 〔関兵衛実ハ大伴黒主〕坂東三津五郎				
〔武藏坊弁慶実ハ鞍馬山僧正坊〕藤間秀斉				
〔男鳥壳実ハ八幡太郎〕花柳寿楽 〔女鳥壳〕松見彌翠穂				
中村小虎 〔若衆〕花川蝶十郎				
〔笠屋半七〕花柳絃三 〔茜屋三勝〕若柳光妙				
藤間京・藤間松寿郎				
〔白拍子花子〕吾妻徳穂				
〔太神楽獅子実ハ御厩喜三太〕猿若清方 〔静御前〕猿若古代				
〔浪花の次郎作実ハ石川五右衛門〕花柳寿美之輔				

国立劇場 舞踊公演

公 演		公 演 名	演 目 名	時間 (分)	映 像	録 音
回数	年 月					
	国立劇場大劇場		一戻駕色相肩一			
3	昭和42年 3 月29日～30日 (1967)	舞踊名作集 江口博＝監修	29日 12:00 田村 西崎正＝詞章 観世栄夫＝校閲 (1)杵屋佐之助＝作曲 観世栄夫＝謡曲 (6)福原百之助＝作調 小森安雄＝演出 西崎緑＝振付 有賀二郎＝美術 驢陀 妍風会＝案 (3)今藤長十郎＝作曲 花柳幾久英＝振付 望月太明蔵＝作調 荒島鶴吉＝美術 大和路 香取仙之助＝作詞 (14)杵屋六左衛門＝作曲 花柳寿南海＝振付 瓜子姫とあまんじゃく 木下順二＝作詞 (2)野澤喜左衛門＝作曲 武智鉄二＝演出 田中佐十次郎＝作調 川口秀子＝振付 長倉しげる＝美術 八岐大蛇 花柳徳兵衛＝構成・演出 岡本一彦＝詞章 清水脩＝作曲 若山胤雄＝神楽 佐原包吉＝美術 樹落＝衣裳			
			29日 17:00 まつり 三隅治雄＝原案 (4)常磐津文字兵衛＝作曲 藤の会＝振付 (4)藤間勘右衛門＝監修 有賀二郎＝美術 鬼子母得道 松本亀松＝作 野澤松三郎＝作曲 (3)堅田喜三久＝作調 花柳寿美園＝振付 中嶋八郎＝美術 〔地唄〕 雪 門 石濱恒夫＝作・編 大栗裕＝作曲 花柳有洗＝振付 大塚克三＝美術 釣狐 松本亀松＝作 (14)杵屋六左衛門＝作曲 梅屋金太郎＝作調 花柳寿楽＝振付 山本武夫＝美術	44	有	
			30日 12:00			
			綾子舞			

主　　な　　出　　演　　者		開演時間	入場料金 入場者数	備　　考
〔東の与四郎実ハ真柴久吉〕花柳輔夫 〔禿たより〕花柳寿美			5155人	
〔童子後田村麿〕西崎緑　〔僧〕観世栄夫 〔唄〕松島庄三郎　〔謡〕観世栄夫 〔三味線〕杵屋佐之助 〔囃子〕望月長左久		12時・5時	1300円 1000円 400円	榎茂都陸平病氣休演のため、〔蛙〕にかえて〔雪〕を榎茂都梅治が代演。
花柳幾久英・花柳大蔵・花柳與 〔唄〕富士田新蔵　〔三味線〕今藤長十郎 〔箏〕米川敏子 〔囃子〕藤舎呂弘				
〔素踊り〕花柳寿南海 〔唄〕杵屋六左衛門　〔三味線〕杵屋勘五郎 〔囃子〕藤舎呂雪				
〔瓜子姫〕川口秀子 〔あまんじゃく〕花川蝶十郎 〔じっさ〕琴吹千草　〔袖の権六〕花ノ本寿 〔山父〕観世栄夫 〔浄瑠璃〕竹本越路大夫 〔三味線〕野澤喜左衛門 〔囃子〕田中佐十次郎				
〔足名椎〕花柳徳兵衛　〔手名椎〕花柳吉衛 〔素戔鳴尊〕花柳衛彦 〔神楽囃子〕矢作錦吾				
藤間勘右衛門・藤間亨 【藤の会】 〔三味線〕常磐津文字兵衛・田島佳子 〔十七絃〕菊地梯子 〔囃子〕望月左吉				
〔詞梨帝母(鬼子母神)〕花柳寿美園 〔阿羅漢(釈尊の使僧)〕花柳寿楽 〔百姓の女(奪われた子の母)〕花柳寿南海 〔浄瑠璃〕竹本米太夫　〔三味線〕野澤松三郎 〔胡弓〕豊澤宗之助　〔琴〕国重歌純 〔二十一絃〕宮崎歌尊 〔囃子〕堅田喜三久				
榎茂都梅治(代演) 富山清琴				
花柳有洸 【NHK大阪放送合唱団】				
〔白藏主〕花柳寿楽　〔狸師〕西川扇藏 〔唄〕杵屋六左衛門　〔三味線〕杵屋勘五郎 〔囃子〕梅屋金太郎				
花柳茂珠・花柳寿々方・橘芳慧				